

# ピアノを弾こう! 教室訪問 PART 2 第9回

子どものレッスン、大人のレッスン、さて今回は?

今月のピアノ教室 福岡市 日本楽芸社香椎センター



福岡市を中心にヤマハ音楽教室や個人レッスンの運営、楽器販売などを幅広く行う日本楽芸社。香椎センターのある東区千早は博多や天神などの商業地に近く、近年ベッドタウンとして急速に発展した地域だ。若いファミリー層が急増していて、センターに通う生徒数も増加中だ。■福岡県福岡市東区千早5-8-15F ☎092-682-0304 / 最寄駅は、西鉄貝塚線「香椎宮前駅」より徒歩5分

## 小さな子どものレッスンには、保護者同席が有効なことも

今月は、福岡市の日本楽芸社香椎センターで教える三家育子先生のレッスンを取材した。「こんにちは〜っ」と元気にあいさつする竹原幹太くん(小2)は、テキスト「NEWなかよしピアノ2」から「NEWピアノスタディ2」への移行段階だ。

### さあ、レッスンしましょっ!

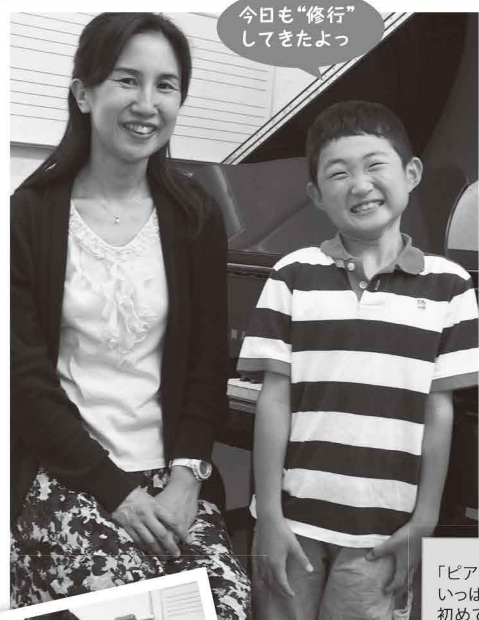
今月の先生と生徒

#### 三家育子先生

みつや・いくこ ●大学卒業後、ヤマハのシステム講師を経てピアノ講師に。現在は日本楽芸社香椎センターで週2日稼働。小学生を中心にピアノ指導を行う。伴奏ピアニストなど個人の演奏活動も活発に行っている。PSTA西日本エリア講座スタッフ。

#### たけはらかん た 竹原幹太くん(小2)

2歳上の姉のレッスンに刺激されて、幼稚園の年長組からレッスンを始めた。「自発的に始めたお稽古なので、3日練習をサボったらレッスンをやめる」というのが、竹原家のルール。香椎センター隣接のスイミングスクールにも通う。



三家育子先生のレッスン流儀  
子どもの笑顔とともに、  
楽しく、かつ音楽力が  
身につくレッスン

「NEWなかよしピアノ2」の「とべ!うちゅうせん」をクリア。譜面を見ながら、「火星がこっちにあつて、ずっと行ってね……」と、にぎやかな幹太流楽曲解説が止まらない。



「ピアノは大好き!」と元気いっぱいのはん太くん。昨年は、初めてのピアノ発表会も経験。うまく弾けた?と聞くと、「うん」と大きくうなずいた。



三家先生に背中を向けて、音を当てる聴音の練習。「これは?」「ファ・ミ・ソ!」「そう。これは?」「ソ・ミ……あれっ?」

「小さい子どもの場合はピアノを弾くだけでなく、立ったり座ったり、できるだけ体を動かす動作を取り入れるように工夫しています」



幹太くんには指の動きを教える三家先生。家でも練習してる?と聞くと、「たまにやってる」とテレながら答えてくれた。

何度もページを開いた「NEWなかよしピアノ2」。7月中旬にグレード13級に挑戦する。



### 教材のイラストから物語をつくる

「幹太くんはとても想像力豊かな子なので、テキストのイラストやCDの曲に反応して自分で物語を作ってしまう。このテキストは、想像力豊かな子どもの視覚や聴覚を刺激して、無理なく豊かな音楽力が身につくように作られています」と三家先生。

自分からピアノを習いたいと言いついた幹太くんは、新しいテキストが渡されると、まず付属のCD(テ

キスト収録曲の参考演奏を収録)を最後まで聴いてしまうそう。「気に入った曲があると、自分で勝手に音をとったりしています」とお母さん。

「NEWなかよしピアノ2」から「とべ!うちゅうせん」を三家先生と連弾。その後もピアノを弾く前にメロディを歌ったり、指の運びを繰り返し練習したり。リズム打ちや聴音

の練習も。30分のレッスンの中で、基礎を一つひとつ教えていく。レッスン中の幹太くんは言葉豊かに曲の感想を話したかと思えば、「間違えたっ! ぎゃおっ!!」と叫ぶなど、実に子どもらしい反応の連続で、見ているほうも、思わず笑顔に。

小学生や幼児のレッスンが多い三家先生は、「小学校の低学年くらいまではできるだけ保護者同席をお願いしている」と話す。楽譜に書かせても注意ポイントを忘れが

ちなので、家で練習する時に「先生がこういっていたよね」と保護者のサポートがあるだけで、上達度が違うことがあるからだ。「楽しく、かつ音楽力をつけることを目的に、子どもの笑顔が見られるようなレッスンをしていきたいと思っています」

小5と小3の男子の母親でもある三家先生は、忙しい時間を縫って、毎日2時間の練習を自分に課している。「子どもたちにちゃんとした演奏を聴かせたいし、自身の演奏活動のためにもなりますから」